

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 3 月 29 日

仕 事 の 内 容	農業振興対策事業費				
担当部署・課長名	産業振興	課	農政	係	課長名 小川 泉

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	3 - 3	-
【施策名】 都市農業の振興	総合計画書 (ページ)	73	

予算名	款 6	農林業費	項 1	農業費	目 3	農業振興費	事業 1	農業振興対策事業費
-----	-----	------	-----	-----	-----	-------	------	-----------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市内農業者、農業者団体	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) ①農家数 ②農業者団体数 →
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 市内農業の維持・継続	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) ①農家数 ②農業者団体数 →
	③ そのために何をしましたか。 都市農業の存続を目指すため、必要な農機具・資材等の購入に対して補助を行い、農業経営の存続を図る。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 補助金交付額 →

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
	対象指標	①の数値	人	①295 ②7	①295 ②7	①295 ②7	/	/
	成果指標	②の数値	人	①295 ②7	①295 ②7	①295 ②7	/	/
	目 標	②の目標値		/	/	/	/	/
	目標値設定の考え方							
	活動指標	③の数値	円	3,449,006	7,707,549	4,061,635	/	/

3 経費	事業費(実績)		円	3,600,589	10,298,291	3,174,864	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	3,600,589	7,661,291	3,174,864	
		特定財源	円	0	2,637,000	0	
	(うち受益者負担)		円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3	
		所要人数(再任用)	人				
		職員人件費(再任用以外)	円	2,480,100	2,475,900	2,473,200	
職員人件費(再任用)		円					
事業費+人件費		円	6,080,689	12,774,191	5,648,064		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 進行する農地の宅地化とともに、農地面積や農家数の減少がみられるため、農業経営の基盤強化を図り都市農業の推進を図る。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 農地面積や農家数の減少には歯止めがかからないが、認定農業者制度を開始するなど、農業経営に対する意識の高い農家を中心として支援を行っている、

仕 事 の 内 容	農業振興対策事業費			
担当部署・課長名	産業振興	課	農政	係 課長名 小川 泉

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	より安全で、より高品質な農産物の生産が求められている。	

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）	
	取り組んだ	取組手法
		⑤ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点		

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容	
	農地及び農家の減少	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。	
	継続的な支援の実施	
(3)(2)を踏まえた今後の課題		
農業後継者の育成		

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）		
	農業後継者の育成と、農地の維持のために必要な支援を行う。		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
	相続に伴う農地の減少に歯止めがかからない。		
(3)改革・改善案による期待成果			
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成果	成果を維持する。	経費	仕事の経費は維持する。